

1 学校教育目標

心身ともに健康で、自主的に実践する子供の育成
[校訓] 賢く（知）、仲よく（徳）、強く（体）

2 本年度の重点目標

他と関わりながら、自らを高めていく子供の育成

【確かな学力】 自ら考え、学び合う子
【豊かな心】 互いを認め、支え合う子
【健やかな体】 生活を見つめ、きたえ合う子

こんな福岡っ子の育成を目指して

- ① … 福岡を愛する子
- ② … 苦労を嫌がらない子
- ③ … 思いやりあふれる子
- ④ … 考えて生活する子

3 学校運営の方針

- (1) 児童及び教職員が、安全で安心して活動できる教育環境を整える。
 - ・進んで挨拶する、気持ちよい言葉遣いをする、教室の整理・整頓に努めるなど、潤いのある環境づくりに留意する。
 - ・報告、連絡、相談体制の一元化を図り、迅速な対応に努める。また、信頼を礎とする協働体制の下、チームとして課題に取り組むことで、いじめや事件・事故の未然防止・早期解決を図る。
- (2) 学ぶ意欲を高め、確かな学力を育む学習指導を展開する。
 - ・多様な学習活動、指導体制を工夫して、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得に努める。
 - ・児童自らが発言する機会や児童同士が関わり合う機会を意図的・計画的につくることで、児童が主体的・協働的に学習に取り組む習慣を身に付けさせる。
 - ・「とよま型学力向上プログラム（Ⅱ期）」を推進し、児童の思考力、判断力、表現力等の育成を図る。
 - ・読書活動の充実を図り、生涯を通して学び続ける力の基礎を築く。
- (3) 「いのちの教育」を基盤とし、自他を大切に育む豊かな心を育てる。
 - ・教師と児童、児童同士の触れ合いを深め、互いのよさや違いを認め合い、学び合う、温かい人間関係づくりに努める。
 - ・一人一人に自己存在感や自己有用感を味わわせるような学校行事や児童会活動、ボランティア活動等の場を設定する。
 - ・「特別の教科 道徳」の充実を図り、自己の内面を見つめ、道徳的価値を自覚し、行動できるように働きかける。
- (4) 児童の健康増進と体力の向上を図る。
 - ・心身の健康について学ぶ機会を充実させ、家庭・地域と連携して望ましい食習慣や規則正しい生活習慣を確立させる。
 - ・運動の楽しさを知り、進んで体力づくりに取り組もうとする態度を育てる。
- (5) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進する。
 - ・各種研修会等を通して教師の専門性を高めるとともに、校内委員会を中心に児童の実態を把握し、個に応じた指導の充実を努める。
 - ・通級指導教室での個別指導を充実させ、学習や生活上の困難の改善・克服を図る。
- (6) 郷土愛の育成と信頼される学校づくりに努める。
 - ・地域の特色や人材を活かした地域学習をより充実させ、ふるさと福岡への愛着と誇りを育む。
 - ・学校の経営方針や活動状況等を積極的に発信し、保護者、地域住民の願いを随時教育活動に反映させるなど、地域ぐるみで児童の健全育成に努める。